



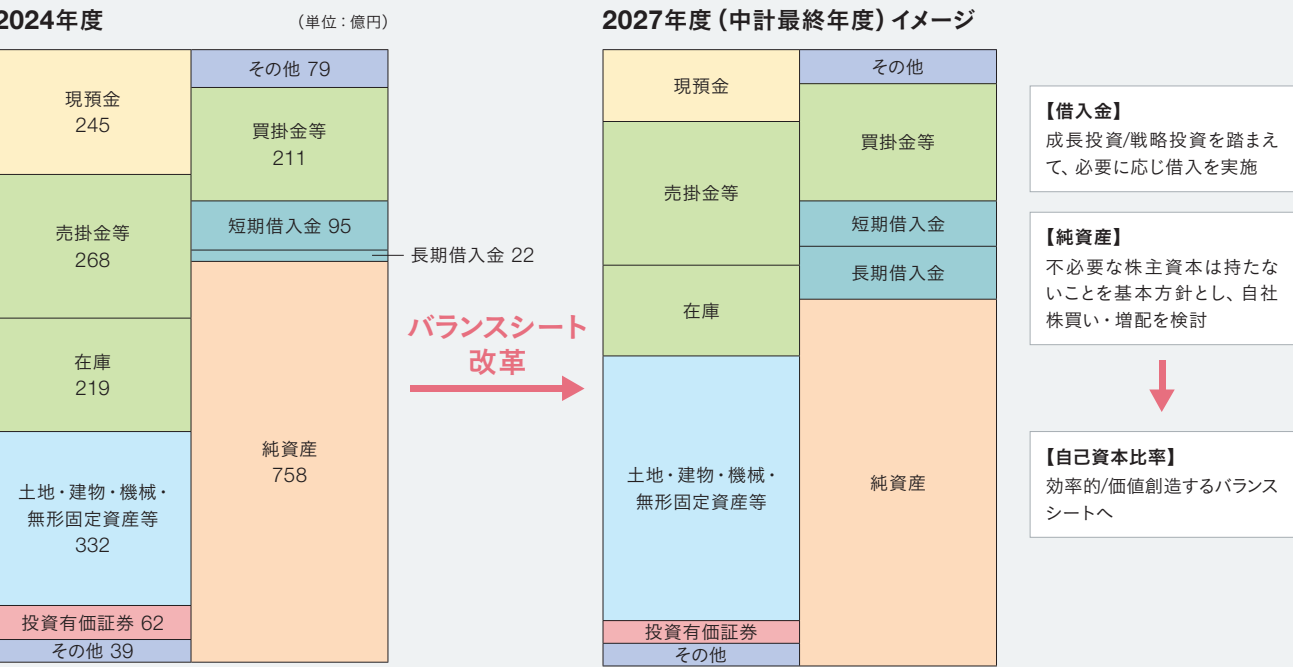
価値創造の全体像

財務戦略

価値創造するバランスシートへの改革

新3ヵ年中期経営計画においては「価値創造するバランスシート」に向けた改革に取り組みます。現預金の圧縮、Cash Conversion Cycleの改善等のバランスシートの構造改革を行います。投資有価証券についても保有意義を検証のうえ、圧縮していく方針です。

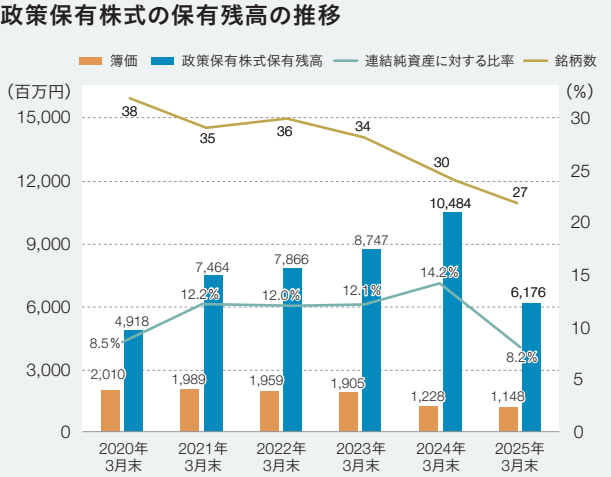
価値創造に貢献しないアセット、必要以上の株主資本を持たない効率的なバランスシートに向けた改革に取り組んでいきます。



政策保有株式

政策保有株式は、株主資本コストに見合った株式であるか、保有による便益を得られているかを毎年取締役会において具体的に精査し、政策保有株式の残高を連結純資産の10%未満にする方針のもと、縮減を進めてきました。なお、縮減により創出したキャッシュは成長投資への活用を軸に株主還元にも振り向け、今後の中長期的な成長を加速させます。

2024年度は連結子会社の保有分も含めた個別銘柄ごとの保有適否の検証に加え、資本政策等も含めた総合的な検証を行いました。その結果、当社が保有していた30銘柄のうち15銘柄について全部または一部の売却を実施し、政策保有株式の残高は連結純資産の8%程度となりました。当該売却により得た資金は全額を自己株式の取得資金に充当しました。



キャッシュアロケーション

新3ヵ年中期経営計画では、持続的な企業価値の向上を実現するため、創出したキャッシュを戦略的かつバランス良く配分する「キャッシュアロケーション」の方向感を定めました。

営業キャッシュフローとバランスシート改革で創出した資金を成長/戦略投資、株主還元等に活用していきます。キャッシュイン(資金の流入)とキャッシュアウト(資金の使途)を可視化し、ステークホルダーの皆様に対して透明性の高い情報開示を行っていきます。

基盤投資

- 既存設備の更新・保守

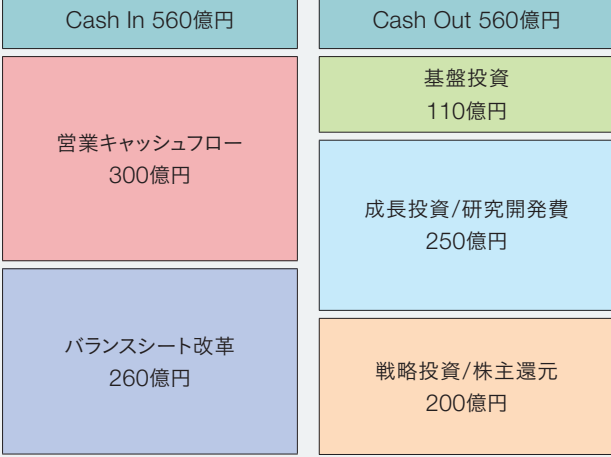
成長投資/研究開発費

- 能力増強/省力化/省人化等
- 製造プロセスの改革
- 基幹システム、グローバルデータベース構築
- 研究開発投資

戦略投資/株主還元

- インオーガニックな成長(M&A等)
- 新規事業への取り組み
- 気候変動対応
- 株主還元

中計3年間のキャッシュフロー



(※) 営業キャッシュフロー：CCC改善分を除く、研究開発費控除前、非支配株主配当控除後
BS改革：現預金圧縮、CCC改善、政策保有株式圧縮、借入金調達
成長投資：能力増強、省力化/省人化投資等
戦略投資：M&A、新規事業、気候変動対応等

基盤投資をはじめとする各種事業投資ならびに自己資本の充実等を勘案したうえで、必要以上の自己資本を持たないことを基本方針として株主還元にも努めていきます。

事業ポートフォリオ

新3ヵ年中期経営計画においては、自動車用成形部材(TR)、医療用(DH)、食品包材(DH)、ASEANを中心とした電力・産業電線(EL)、情報通信/モビリティ/ロボット・FA(EL)等の重点分野を特に拡大していきます。

なお、当社はコンパウンド・フィルム・食品包材の3つの事業領域において、日本国内のみならずASEAN/北米/中国等の各地域で市場セグメント別に多様な分野で活動しています。各セグメントの重点分野の製品は、対応する事業領域内で基本的な生産設備を共有しています。

各セグメントにおいて最適なマーケティングターゲットを追求することで、ポートフォリオの最適化を図り成長・拡大を目指していきます。

